

公益財団法人政治経済研究所 公開研究会



GAFAをめぐる米中覇権争い

報告者 夏目 啓二氏

博士（経営学） 愛知東邦大学教授 龍谷大学名誉教授

日時 2019年5月20日（月）14時～17時
会場 早稲田大学 早稲田キャンパス 9号館5階第1会議室
東京都新宿区西早稲田1丁目6-1
※資料代500円を頂戴いたします。

トランプ政権は、「アメリカ・ファースト」を掲げ、米中貿易戦争に突入している。20%の関税から25%の高関税の幅をもちながら、課税対象品目を中国と交渉している。さらに、中国のファーウェイ（華為科技）、ZTEなどハイテク企業を狙い打ちにしている。トランプ政権が中国のハイテク産業を敵視するのはなぜだろうか。また、中国のハイテク産業の実力はどれほどのものだろうか。米中貿易摩擦が世界と日本企業に及ぼす影響はどのようなものだろうか。これが、本報告の明らかにする課題である。

そこで、本報告は、①米国のデジタル多国籍企業の支配構造と動揺、②中国のデジタル多国籍企業の台頭と米中の技術的覇権競争、③米中のデジタル多国籍企業と投資ファンド、の順で明らかにしたい。

【お問い合わせ】
〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4
Tel.03-5683-3325 Fax.03-5683-3326

公益財団法人 The Institute of Politics and Economy
政治経済研究所